

■ タツモ株式会社 様

【会社紹介】

タツモ株式会社は、岡山を拠点に半導体製造装置・液晶関連装置、各種搬送ロボット、開発・製造・販売を行う装置メーカーです。

1972年の創業以来、薄膜から厚膜まで幅広い成膜・塗布プロセスやパワー・AI向け半導体分野の装置で、お客様の製造現場の生産性向上に貢献してきました。現在は国内外のグループ会社と連携し、グローバルに事業を展開しています。



【貴社の人材育成についての考え方をお聞かせください。】

当社の人材育成は「技術・挑戦」

- 技術：装置のメカ・電気・ソフト・プロセスの教育体系スキルマップを整備しつつ、ベテランのノウハウを標準作業・動画・故障事例DBに落とし込むことで暗黙知の形式知化を進めています。新人～中堅～リーダーの各層で職能要件を定義しています。
- 挑戦：外部研修や資格取得（機械・電気・PLC・安全・品質）を推奨し、受講後は現場への適用テーマを学び、装置開発のリードタイム短縮、品質向上、トラブル未然防止など具体的な業務や成果に結び付け、挑戦することを重要視しています。

【中国職業能力開発大学の研修受講実績（令和7年度）】

- 有接点シーケンス制御の実践技術
- 現場のための電気保全技術
- ものづくり現場におけるAI活用技術
- 半導体デバイス製造プロセス
- オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術

【中国職業能力開発大学の研修を受講しての感想をお聞かせください。】

- 実務直結のカリキュラム：

国職業能力開発大学の研修は、その実現に向けた心強いパートナーであり、今後も計画的に受講機会を設けてまいります。研修内容では、機械加工・電気計測・PLC・空圧／油圧・安全・品質管理など、製造装置に直結する内容が体系的に用意されており、現場配属1～3年目の基礎固めに最適でした。また、講師の方々の産業界での実務経験に基づく具体例が多く、受講者の理解が加速しました。

- ハンズオン中心で定着度が高い：

座学→実習→振り返りの流れが明確で、受講直後から配線・センサー調整・シーケンス改修・安全確認など現場での「まずやってみる」一歩を踏み出せました。特に故障再現→原因切り分け→恒久対策の演習が、装置トラブル対応力の底上げに有効でした。

- 連携への期待：

今後はパワー半導体プロセスやクリーンルームでの安全、ロボット搬送、画像処理・制御最適化など、当社装置に関連するテーマでの応用編や企業別カスタム研修の拡充に期待しています。共同での人材育成モデルづくりにも取り組んでいきたいと考えています。

【会社概要】

- ◆事業所名：タツモ株式会社
- ◆所在地：岡山県岡山市北区芳賀5311
- ◆設立年月日：1972年（昭和47年）2月26日
- ◆資本金：35億6859万682円
- ◆代表者：代表取締役社長 佐藤 泰之
- ◆社員数：単体449名 連結1,150名
- ◆主な事業内容：半導体製造装置、半導体製造用搬送装置、液晶製造装置、紫外線照射装置、めっき処理装置、精密金型・樹脂成形品などの開発・製造・販売
- ◆URL：<https://tazmo.co.jp/>